

職務基礎力試験（社会事情・言語能力）

〔例題1〕 2019年7月に行われた参議院議員通常選挙に関する次の文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

2019年の参議院議員通常選挙では、前年の公職選挙法改正により、ア定数が削減され、一票の格差の縮小が図られた。また、同改正では、比例代表選挙についても見直され、イ非拘束名簿式を基本的に維持しつつ、政党等が、優先的に当選人となるべき一部の候補者を、順位を付けて名簿に記載できる特定枠制度が新たに導入された。

選挙の結果、与党である自民党と公明党は、改選議席のウ過半数を獲得した。選挙後の全議席について見ると、与党と憲法改正に前向きな勢力とを合わせたいわゆる「改憲勢力」の議席数が憲法改正の国会発議に必要な議席数をエ上回り、これを受け、衆参両院の憲法審査会において憲法条文の改正案の審議が始まった。また、女性の参議院議員数は過去最多となり、オ全参議院議員に占める女性の割合は30%を超えることとなった。

1. ア、エ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. イ、エ
5. ウ、オ

【正答3】

職務基礎力試験（社会事情・言語能力）

〔例題2〕 次の四字熟語のうち正しいのはどれか。

1. 絶体絶命
2. 無我無中
3. 危機一発
4. 正真証明
5. 新規一転

【正答1】